

# と しょ かん 宇 治

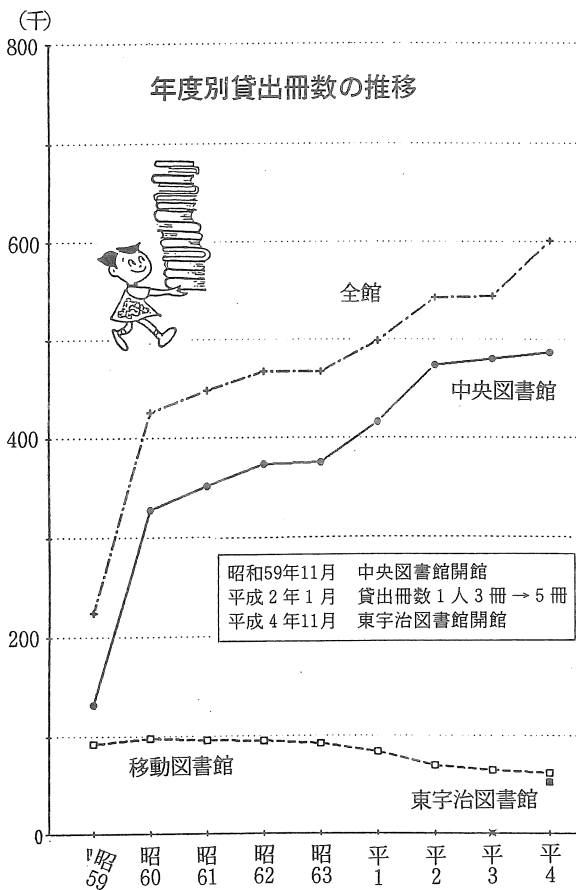
No. 29

1993年3月31日 発行

宇治市中央図書館  
〒611宇治市折居台1-1  
0774 (20) 1 5 1 1

宇治市東宇治図書館  
〒611宇治市五ヶ庄三番割36-5  
0774 (32) 2 2 3 2

## 平成4年度の貸出冊数 60万冊を越える



平成4年度の貸出総数は六〇〇、八九九冊になり、宇治市の図書館として始めて六十万冊を越えました。

これは、市民一人あたり三・三冊を貸出したことになりました。

内訳は、中央図書館四八六、三九七冊・移動図書館六一、七九一冊・東宇治図書館五二、七一一冊で、昨年度に比べて、全体として五六、〇〇〇冊、率にして一一％も増加しました。

この飛躍的な貸出冊数の伸びには、昨秋オープンした東宇治図書館が大きく貢献しています。同館は中央図書館の初めての分館として開館後、四ヶ月余りの間

に順調に貸出冊数が増え、これからのペースで利用が伸びていくことが予想されます。

また、全館的には、オンラインで結ばれた中央図書館と東宇治図書館を中心に、市内をきめ細かく巡回する移動図書館が一体となりながら、それぞれの特色を生かした図書館サービス体制がより充実したことも、利用の増大につながったことと思います。

今後も、利用者に親しまれ、気軽に活用していただける図書館をめざして努力を続けたいと考えています。

郷土を調べる 1

# 宇治川と宇治橋

宇治川は琵琶湖を水源として流れ出す唯一の川です。上流は瀬田川といい、宇治市域に入って宇治川と名称が変わります。

流量が豊かで、峡谷を流れる急流、峡谷から平野部へ出る処の景観の美しさ、平野部の雄大な流れは、それぞれ宇治川の魅力となつて人びとを引きつけてきました。宇治市の原風景は、宇治川が織りなす自然環境にあります。

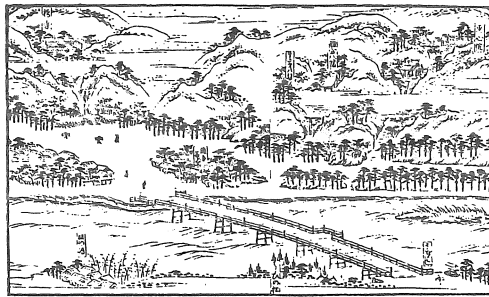
宇治川は、かつて巨椋池へ直接流れ込んでいました。そのため、大和から近江、京都を結ぶ交通路は、巨椋池を迂回して宇治川が峡谷から平野部に流れ出るところを渡河点としていました。ここに架けられたのが宇治橋です。

宇治橋は、交通の要衝として人びとの往来がしげく、橋の周辺に発達した集落が、宇治郷です。

■宇治川に関する資料

宇治川兩岸一覽 柳原書店 昭和53年 K 291

暁晴翁著・松川半山画で文久3年に刊行されたものの影印および活字翻刻版。伏見から宇治川をさ



宇治川と宇治橋（都名所図会より・部分）

かのぼるかたちで、橋や兩岸の社寺・史跡を宇治橋周辺まで紹介している。（淀川兩岸一覽も含む）

宇治川誌 宇治橋付近景観保全対策協議会編 昭和52年 KM517  
宇治川の生物、水質、水害等

宇治川 林屋辰三郎他著 光村推古書院 昭和55 K 291

宇治川をテーマに、その風土・歴史・生活・芸術等。写真多数

まんが宇治川ものがたり 近畿地方建設局編 昭和63年 K 216

ことも向けにまんがで描いた宇治川のおはなし

巨椋池干拓誌 昭和37年 K 614

宇治川の流路の変遷にふれる

水防五十年史 淀川・木津川水防事務組合編 昭和45年 K 517

宇治川の河川改修工事一覽等の水防資料を含む

淀川百年史 近畿地方建設局編 昭和49年 K 517

宇治川の治水計画、改修、発電事業等を含む

■宇治橋に関する資料

資料収束名橋高欄擬宝珠銘 奈良定吉編 昭和50年 K 515

宇治橋擬宝珠銘、宇治橋断碑等、宇治橋にかんする資料を収録

宇治市史1 昭和48年

宇治橋創建 (P 329-332)

天の橋・地の橋 福音館書店 平成3年 913

宇治橋 (P 192-193) 橋姫につづつ (P 204-215)

■宇治川の水車

揚水機として灌漑のため使われた水車は宇治川の風物であった

宇治市史2 昭和49年

里人の水車 (P 461-465) 宇治の水車 (P 717-721)

宇治市史3 昭和51年 水車による灌漑 (P 353-354)

宇治市史4 昭和53年 水車の近代的利用 (P 94-106)

水車の技術史 出水 力 思文閣出版 昭和62年 614.8

宇治川の揚水水車 (P 10-14)

■全般的なもの

新修京都叢書 全23巻 臨川書店 昭和51年 K 291

新撰京都叢書 全12巻 臨川書店 平成元年 K 291

いずれも京都の地誌を集めた叢書。最終巻が索引になっており、これで「宇治川」「宇治橋」をひけば、各地誌にどんな記載があるかがわかる。

# 図書館へようこそ

## 利用者にインタビュー

### 第16回

#### 太田京子さん



「利用者の方と共にくらしの中の図書館を考えていきたい……。」そんな思いをこめたインタビューコーナー『図書館へようこそ』今回は新しく開館した東宇治図書館がある、五ヶ庄にお住まいで「本を読んでさえいけば機嫌が良いと子供たちに言われます。」とおっしゃる太田京子さん（主婦）にお話を伺いました。

☆図書館はよく利用されますか。  
はい、以前から中央図書館へよく行っていました。東宇治図書館が開館してからは週に一度は借りに行きます。予約・リクエストもよくします。  
☆どんな本をよく読まれますか。  
ミステリーとくに外国小説がす

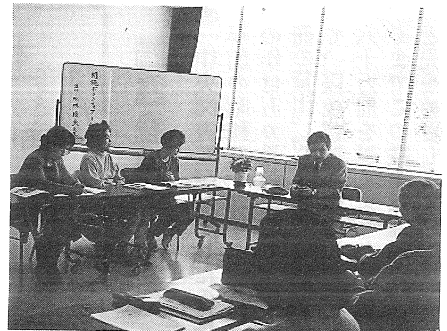
きです。美術書もすきです。  
☆いままで読まれた本の中で感銘を受けた本は……。  
高橋たか子さんの本が好きで「誘惑者」は特に感銘を受けました。

私にとつての女性というものが表れていると思います。  
図書館に高橋さんの本がすべてあればなと思います。

☆読まれる本はどのように選ばれていますか。  
書店の人に変に思われるかもわかりませんが読みたいなと思う本をメモしてきます。新聞の書評もよく読みます。

でかけることが多いので手軽な文庫本が多いですね。  
☆図書館の蔵書についてご希望はありますか。  
私が感銘を受けた高橋たか子さんの本が全部所蔵されていたら良いと思う様に他の著者の本、小説などはもっとたくさんあればと思います。

☆図書館を利用してご感想ご要望がありましたら……。  
予約、リクエストをして徹底的に本をさがしてもらった事に感激しました。利用者のマナーとして本を丁寧にあつかいたいものです。  
☆どうもありがとうございました。



お話しする松林先生

### リーディングボランティアと私 松林先生を迎え講習会

三月二十五日、松林睦夫先生を迎え、「朗読ボランティアと私」をテーマに、リーディングボランティア講習会が開催されました。  
先生は、以前新聞社に勤務していた際、交通事故に遭い、ドーナツ状に視力を失われまし

た。その後、六年間対面朗読に通い、現在は、関西朗読ボランティア協会に所属し、多彩なボランティア情報を盛り込んだ、月刊「朗読ボランティア」の編集を、拡大読書器による原稿書き

### 折々 NEWS



今までに中央図書館の「おはなしかい」に一度も参加していない人ももちろん、参加したことのある人も含めて、たくさんのおともだちの参加を待っています！

から、校止・写真貼付に至るまで、幅広く活動的に手掛けていらっしゃるそうです。また、朗読ボランティアは、何よりも「思いやり」「優しさ」が大切で、常に視障者の身になり欲しい情報をスムーズに与えることが必要だと教えて下さいました。  
地域の心温かいボランティア活動の重要さと障害者の限らない可能性を実感した、大変素晴らしい講演でした。

### おはなしかい 東宇治図書館でもスタート

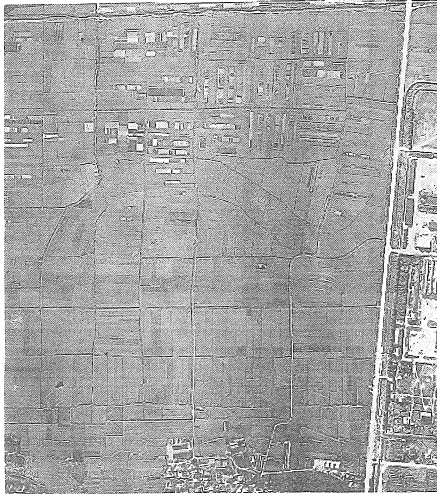
東宇治図書館では四月七日（水）から、毎月第一水曜日に「おはなしかい」を行います。時間は午後三時半から四時までです。場所は東宇治図書館のあるコミュニティセンターの三階小会議室、「おはなしのへや」です。内容は、おはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居などの予定です。「おはなしのへや」に入れるのは子どもだけですので、お母さんの入場はご遠慮ください。

# 郷土のはなし

## 大久保の島畑しまはた

大久保の旧集落の西方に、府宮団地や住宅が建ちならび、また国道二十四号線が南北に走っていますが、もともとは水田が広がっていました。この付近、古くは巨椋池に隣接し、京都盆地でも最も低地な地域です。このような低地の土地利用の一つに島畑があります。島畑というのは、水田の一部を盛土し、その部分を畑として利用する形態で、高畑とか田島・陸田とも呼ばれています。

では、なぜこのようなことをしたのでしょいか。一つには、室町

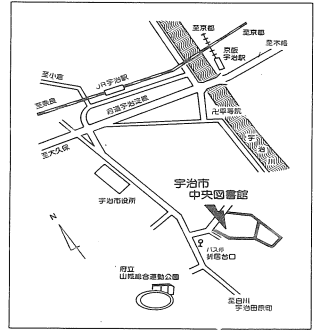


時代以降、綿や菜種などの商品作物が発達し、少しでも多くの畑が必要になったこと、二つ目には、洪水のとき、水田が浸水しても、畑の部分の被害が免れること、三つ目には、田の中にメートルを盛り上げて畑にしているため、水田の水がかりが良くなること、などが考えられます。このような島畑は濃尾平野や新潟平野などにも分布しており、宇治では、大久保の他に伊勢田や横島でもみられますが、特に大久保は、典型的な島畑の景観を示していました。

左の写真は、昭和三十四年に撮影された西大久保付近の航空写真です。写真の左下に縦・横に白くみえる部分が島畑です。この様子は、古い地籍図や地形図でもみることが出来ます。

昭和四十年以降、宅地開発が進んだ宇治市域では、現在ほとんど島畑が消滅してしまいました。同じ低地で、隣接する城陽市や久御山では、現在でも残されており、そこでは、梨やいちじくなどの果物や野菜などが植えられています。

### 中央図書館



## 本をかりるには

### 一 利用案内

- 市内にお住まいの方、市内に通勤通学されている方ならどなたでも 1 人 5 冊、かりられます。
- 貸出券は、中央図書館・東宇治図書館・移動図書館の共通券です。

### 中央図書館・東宇治図書館

- 貸出期間は、3 週間です。
- 開館時間は、9 時～17 時です。
- 休館日は、毎週月曜日・毎月末日 国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

### 移動図書館〔そよかぜ号〕

- 月に市内 24 カ所を巡回しています。
- 日時・場所は、毎月 1 日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。
- 次回巡回日に返却して下さい。

### 東宇治図書館



## 編集後記

中央図書館が開館したのは九年前の昭和五十九年十一月。その年は五カ月の開館で、二二万冊の貸出。翌年は四二万冊となつて、以後順調に増加し、ついに六十万冊を越えました。が、あくまでこの数字は通過点。もっと先をめざします。

今年も南京信平田佐吉財団から児童文化の向上にと寄付金をいただきました。金額は二五〇万円。これで平成元年から毎年の累計は八〇〇万円になります。ありがとうございます。外国絵本の充実や児童書の購入にと有効に使わせていただきます。